

アイデンティティ管理の『現在・過去・未来』

金子 以澄
日本CA株式会社
プロダクトマーケティングマネージャ

アイデンティティ

□ アイデンティティ情報

- Identifiers

例：ユーザID、email アドレス、電話番号、URIやIPアドレス

- Credentials

例：デジタル証明書、トークン、バイオメトリクス

- Attributes

例：ロール、特権、パターン、ロケーション

アイデンティティ管理に関連するキーワード

ディレクトリサービス

プロビジョニング

ワークフロー

DB統合

フェデレーション

メタディレクトリ

監査

SSO

セルフサービス

アクセス情報

認証

認可

アイデンティティ管理をとりまく状況

- 個人情報保護法や、JSOXなどのコンプライアンス対応の必要性から、IT内部統制、特にIT全般統制の必要性が叫ばれる中で需要拡大
 - ITシステムを使用する際の単位である、ユーザIDの管理が基本である

- 監査人の要求への対応
 - 内部監査人・外部監査人が、機密データ・財務データへのアクセスが十分にコントロールされているかをチェックする

- メンテナンスコスト、運用負荷の増大
 - ユーザ数、システム数は増加する一方で、ビジネスの観点からもより多くの顧客情報・パートナー情報を管理していきたい
 - 必要最低限の監査基準を満たすためですら、多くの手作業が必要となってしまう。しかも次の監査までに再度同じ作業を繰り返さなければならない

アイデンティティ/アクセス管理市場

Welcome to IDC Japan



Search

HOME 調査サービス 調査レポート イベント **プレスリリース** 会社概要

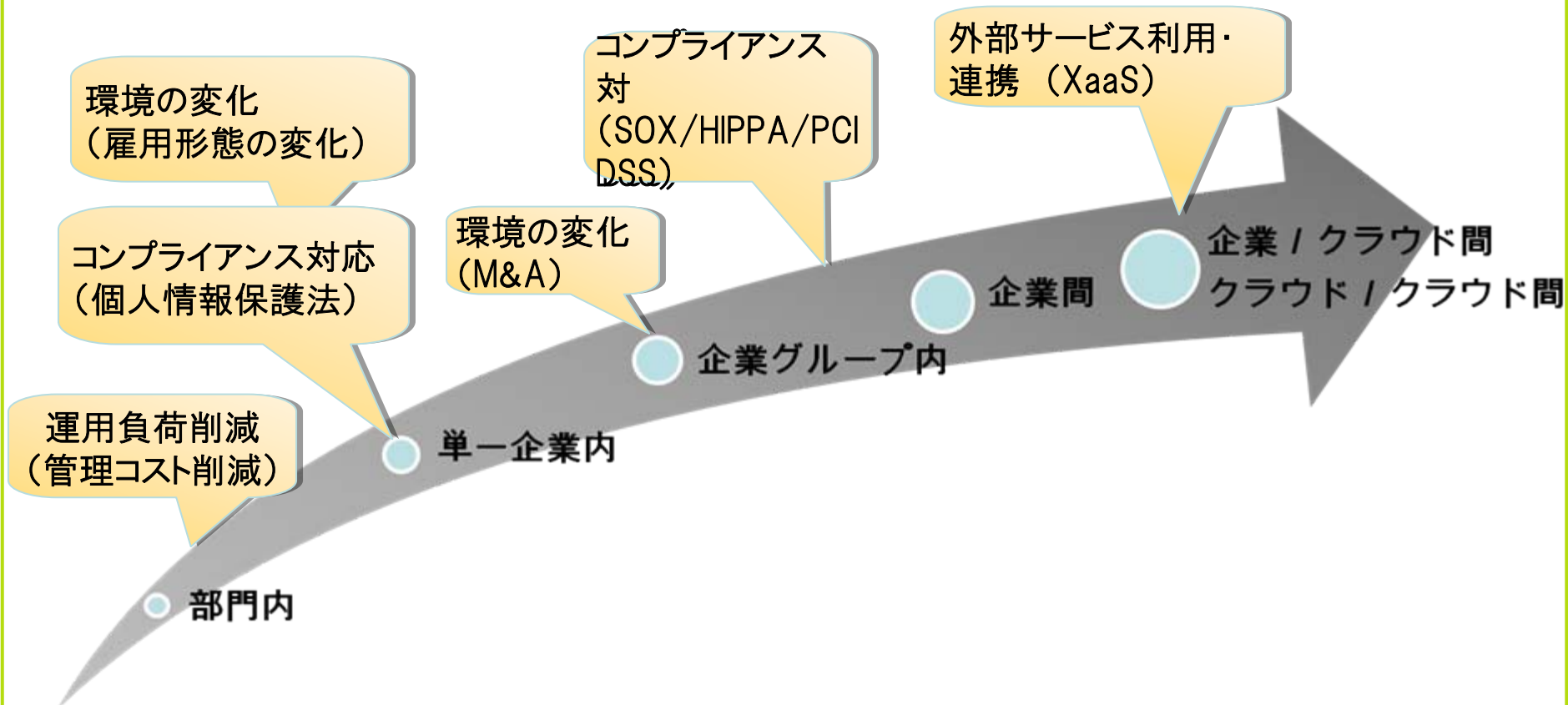
プレスリリース一覧 | 海外プレスリリース

2009年国内セキュリティソフトウェア市場規模予測を発表

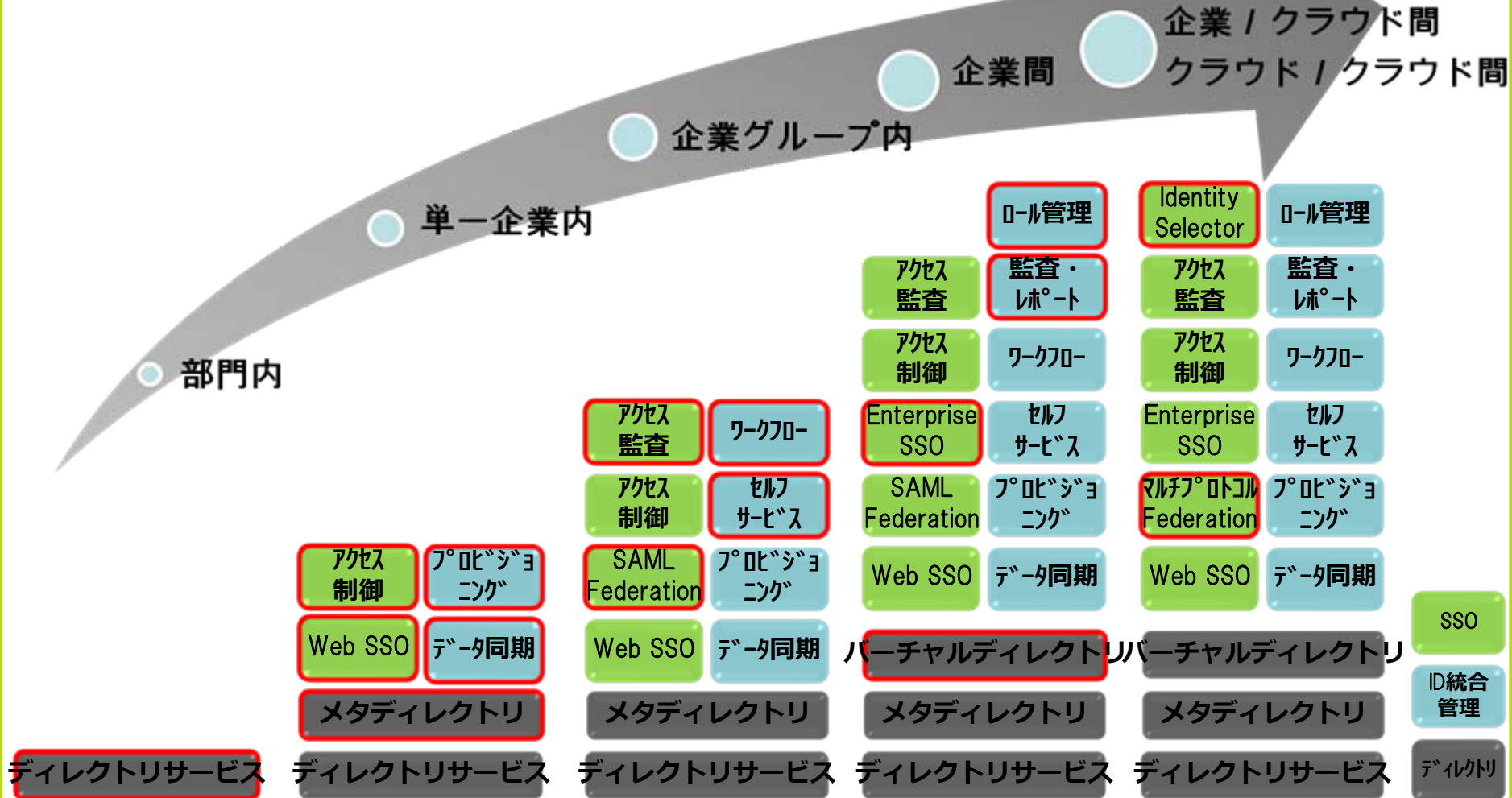
2009年7月21日
IDC Japan株式会社

- ・2008年の国内セキュリティソフトウェア市場規模は1,911億円、前年比成長率5.5%、2008年～2013年のCAGR(年間平均成長率)は4.3%で2013年には2,358億円と予測
- ・アイデンティティ/アクセス管理ソフトウェア市場は内部統制の効率化の需要により、2008年～2013年のCAGRは3.6%で2013年には573億円と予測
- ・セキュアコンテンツ/脅威管理ソフトウェア市場はアンチウイルス製品を中心に安定した需要が続ぎ、2008年～2013年のCAGRは2.8%で2013年には1,247億円と予測
- ・セキュリティ/脆弱性管理ソフトウェア市場はログ管理製品を中心に需要が高く、2008年～2013年のCAGRは9.3%で2013年には308億円と予測

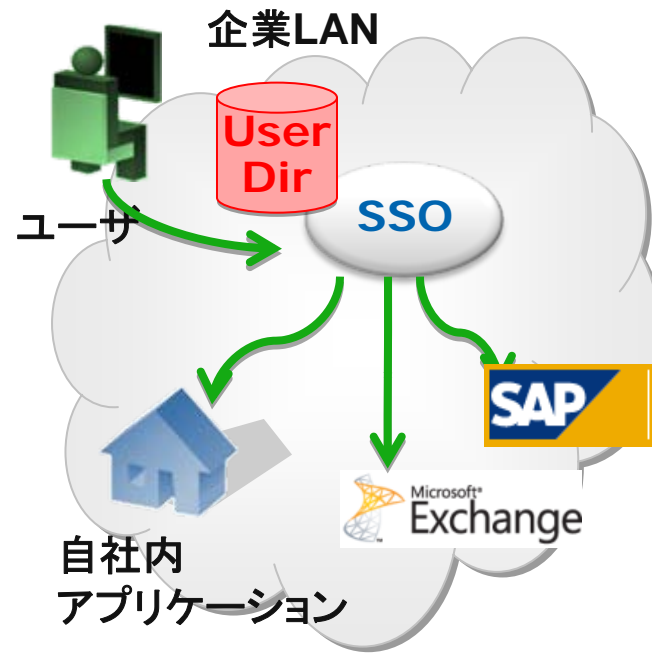
アイデンティティ管理 適用範囲の推移



IDM製品ベンダの技術提供の推移

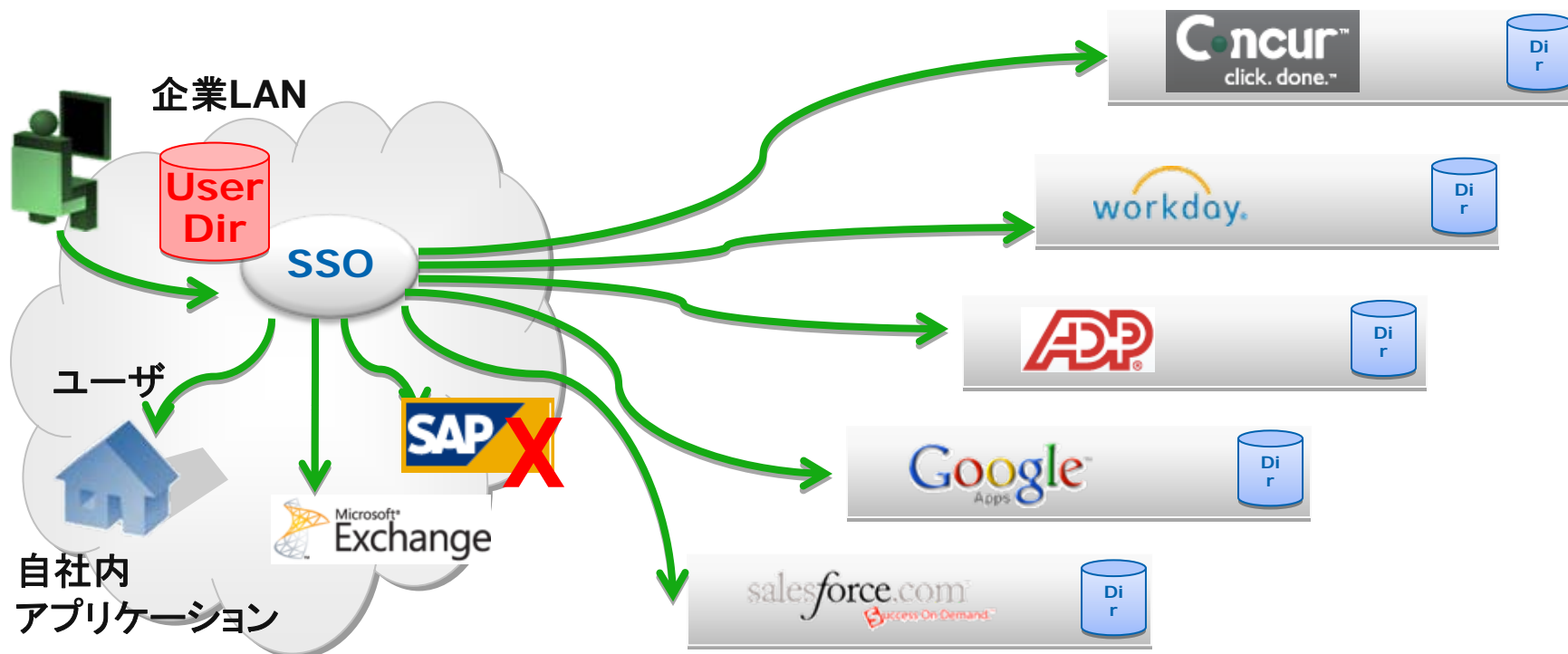


アイデンティティ管理 ～ 単一企業内

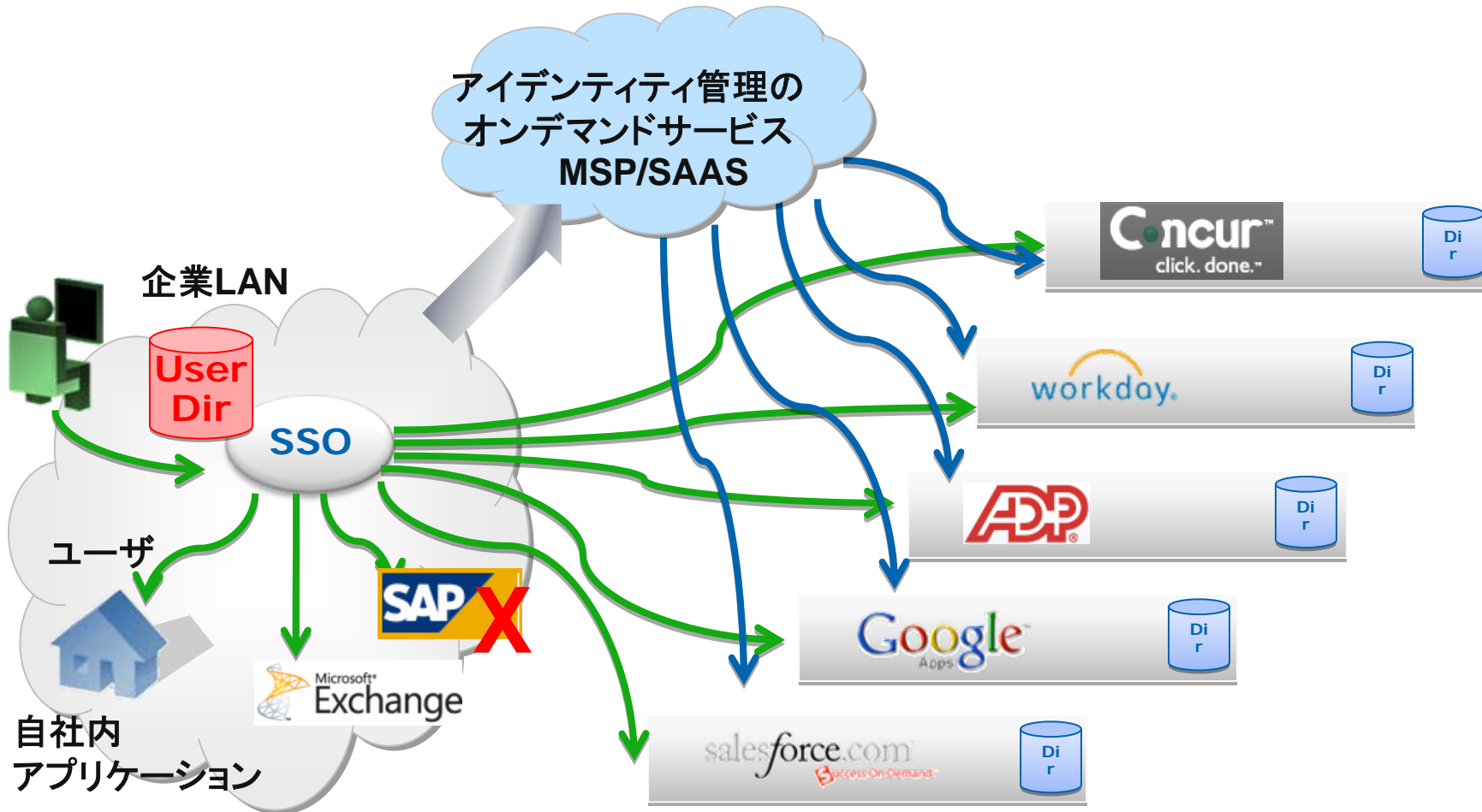


アイデンティティ管理 ~ SaaSアプリ

□ 企業が様々なSaaSアプリケーションの採用を開始

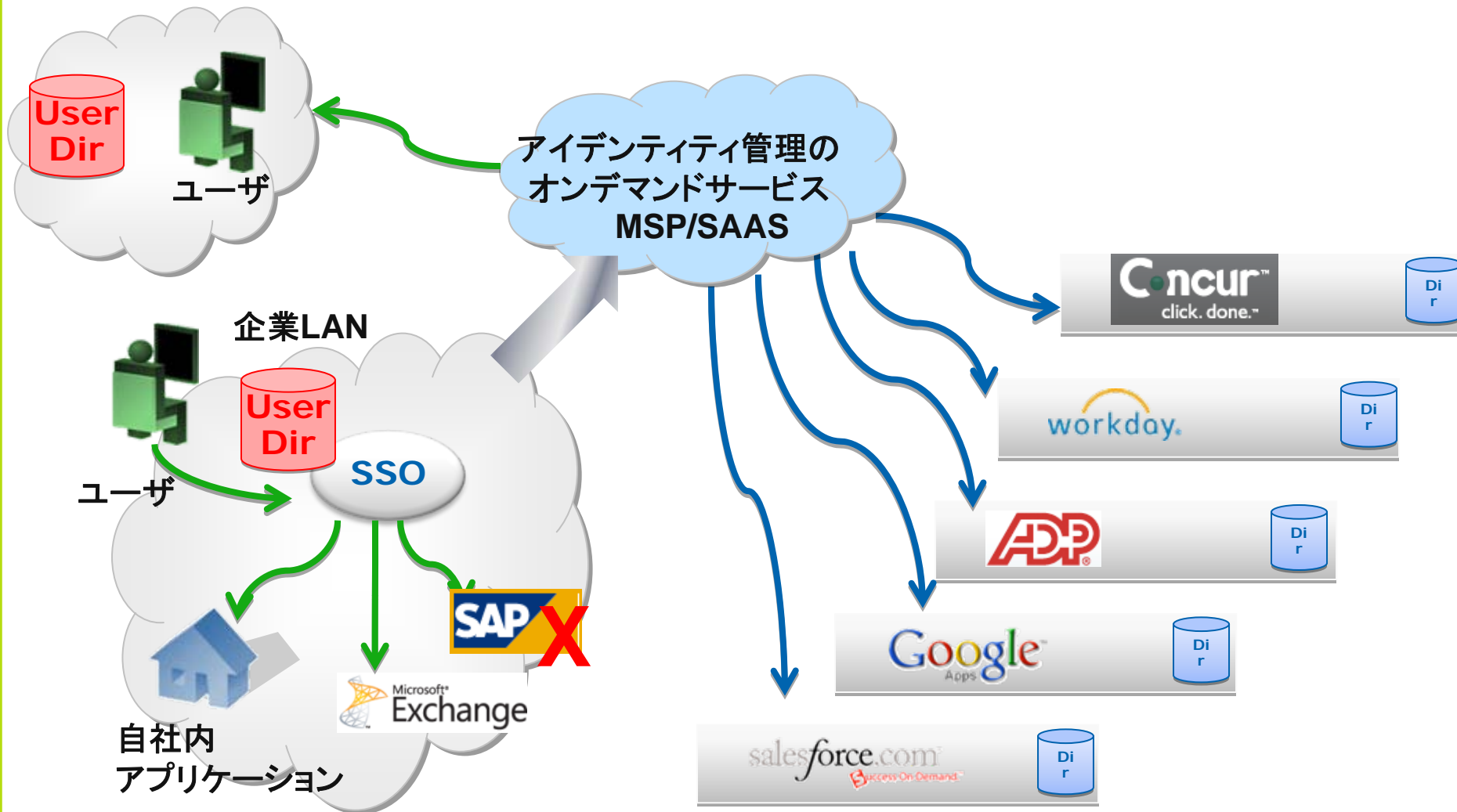


アイデンティティ管理 ~ クラウドベース



アイデンティティ管理 ~ ユーザーセントリック

Emerging Enterprise LAN



視点の多様化

□ エンタープライズ利用から視点が多様化

- IPTV
- ソーシャルネットワーク
- 携帯電話

終わりに

- プライバシーとアイデンティティはきっても切れない関係にある
- セキュリティ基盤としてのアイデンティティ管理(アイデンティティ/アクセス管理)の重要性はますます高まる
- だからこそ様々な標準化は重要な要素

アイデンティティ・ライフサイクルとそれを支える標準化

世界市場規模: 2.6千億円 (2006) から 1.23兆円 (2014)。
 プロビジョニングの占める割合は 1/2 から 2/3 へ

Forrester 2008

